

発言通告書の要旨(代表質問)

平成27年第1回定例会

質問日	質問順	会派/氏名	件名	要旨	
3月6日	1	啓明会 城中 利文	1、次なる10年の第一歩を踏み出す基本的な考え方	(1)財政運営の基本的考え方 (2)人口減少と少子高齢化への対応 (3)市民力と職員力の向上	
			2、新たなる成長の柱は	(1)地域資源をどう生かすのか (2)人材の育成と活用 (3)交流人口の増加対策と目標	
			3、循環型環境都市づくり	(1)ごみの資源化率日本一を目指して (2)環境保全へのモラルの向上と実践	
			4、平成27年度予算の重点は	(1)財政規律を守りつつ20年先を見据えるとは (2)過去最大の積極投資とその運用チェック体制は (3)市税の落ち込みをどう見ているのか (4)市債の見通しと償還計画は (5)独自の振興計画への取り組みは	
		啓明会 丸戸研二	1、強く、やさしく、楽しい田園都市みとよづくりに向けて	(1)市民が主役の田園都市みとよの姿を具体的に示せ (2)「強く、やさしく、楽しい」は、行政施策においてどう進めるのか	
			2、人々が助け合う、安心・安全なまちづくり	(1)危機管理課を設置することによって、安全度はどう高まるのか (2)危機管理センターが整備されることによって、今がどう変わるのか (3)備蓄計画と備蓄の現状はどの段階にあるのか (4)情報管理と効果的な情報提供は	
			3、人々が支え合い、健康でいきいきと暮らせるまちづくり	(1)地域包括ケアシステム構築の目標と現状は (2)子育て支援は、どこまで進化できるのか、させるのか (3)市民の健康寿命の現状と目標、取り組み計画は (4)救急救命システムの課題と目標は	
			4、豊かな心を育み、文化を発信するまちづくり	(1)土曜日教育支援体制等構築事業の取り組み方針を示せ (2)いじめのない学校・社会実現への取り組みについて (3)三豊市生涯学習推進計画のポイントは	
			5、ともに考え、自らが創るまちづくり	(1)まちづくり推進隊の課題と対策は (2)新しい公共サービスがあふれるまちの推進計画 (3)公共施設再配置計画への取り組み	
		2	七宝会 為広員史	1、空き家対策を兼ねた本市への移住について	空き家が増えてきているが、どのように移住増加に結びつけていくのか。
				2、合併特例債を使ったインフラ整備	合併特例債を利用した道路網の整備をどのように考えているのか。
				3、鳥獣被害の対策について	農作物はもとより農地・農道・池等の被害が絶えないが、これらの原状復帰と市民への安全対策について
	4、観光振興について			水族館を中心とした事業や既存の観光施設を利用した観光事業の振興について	
	5、ふるさと納税について			地元特産品のPRを兼ねた納税の推進について	
	6、危機管理及び防災対策について			危機管理センターの利用方法及び防波堤を初め防災対策をどのように進めていくのか。	
	3	社民党 西山彰人	1、施政方針について	施策を市民に問いかけ、議論してもらい、その意見を聞くとの姿勢が見られないように思うが市長の見解を伺う。	
			2、女性職員の登用について	女性職員の登用について、女性差別があるのではと感じるが考えを伺う。特に、女性の多い職場、保育所、幼稚園、病院、福祉職場などについて伺う。	
			3、法令順守(コンプライアンス)について	職員のなかには、法令より上司の意見を優先する気配を感じるがどうか伺う。	

発言通告書の要旨(代表質問)

平成27年第1回定例会

質問日	質問順	会派/氏名	件名	要旨
3月6日	4	公明党 込山文吉	施政方針より 1、活気にあふれ、産業が躍動するまち (地方創生の取り組みについて)	(地域資源を生かした産業の振興と知名度向上) まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本方針を聞く。 ① 地域住民生活等緊急支援交付金を活用した地域振興の考えを聞く。 ② 中小・小規模事業者支援の考え方を聞く。 ③ 移住を推進するためのU・I・Jターン助成強化の考えを聞く。 ④ 妊娠から子育てまで切れ目なくサポートする子育て包括支援センター整備について聞く。 ⑤ 中山間地域での「小さな拠点」形成及び集落ネットワーク圏形成の考えを聞く。 ⑥ 三豊市特産品づくり・収益性の高い農業の確立に向けた取り組みの考えを聞く。
			2、人々が助け合う、安全・安心なまち 三豊市業務継続計画(地震編について)	(危機管理体制の強化) 三豊市業務継続計画について聞く。 ①災害対策本部設置基準では震度6弱以上の地震となっている。その時に計画通り職員が参集できるのか。 ②最優先業務担当職員は必ず参集とあるが、その準備状況を聞く。 ③業務継続計画であるが検討するとして記述が多くみられる。いつ検討するのか。 ④職員への周知、訓練はどのように行っているのか。
3月9日	5	みとよ新政会 瀧本文子	平成27年度施政方針より 1、人々が助け合う、安全・安心なまち (安全・安心)	(1)あの東日本大震災から4年が経過した。地球温暖化に伴う異常気象、また、南海トラフを震源とする大規模な地震発生が予想されるなか、危機管理体制の強化が早急に求められる。発災直後の避難所等の初動体制の確保について伺う。 (2)災害時等における弱者(女性、子ども、障害者など)に対する配慮について伺う。
			2、人々が支え合い、健康でいきいきと暮らせるまち(医療・健康・福祉)	(1)三豊市は今年度「第3期障害者計画」及び「第4期障害福祉計画」を策定し、障害者が地域社会の一員として自立し、安心して暮らせるよう、さまざまな施策を推進している。 ①障害者、障害児を対象とした情報提供について ②西部養護学校における放課後児童の処遇について伺う。 (2)高齢者福祉・介護事業において認知症対策が急務の課題となっている。御本人はもちろんであるが、支える御家族の苦勞も、大変厳しいものがある。認知症家族への支援について伺う。
			3、豊かな心を育み、文化を発信するまち (教育・文化)	(1)27年度より「新教育委員会制度」が施行される。大津市のいじめ問題に端を発し、大きく改革が行われる。三豊市においてどのように実施されるか。実施にあたり経過等御報告願いたい。また、委員会議事録のHP開示を求める。 (2)学校図書館の充実について ①新設小学校の図書館司書配置について
			4、ともに考え行動する、自らが創るまち (人権・住民自治・行財政)	(1)男女共同参画の条例策定に向けて ①市民参加の条例策定について
6		文殊の知恵 横山 強	1、平成27年度施政方針について	(1)市政運営の所信(強く やさしく 楽しい みとよの推進)の中で入口の減少と少子・高齢化において心豊かなまちづくりを精力的にスピード感を持って進めるにあたり、市政方針をもっと具体的な施策を伺う。 (2)1活気にあふれる産業が躍動するまち(産業・雇用) 三豊市農業振興計画において、担い手の育成・耕作放棄地対策集落や多面的機能の確保とはどのような施策かを伺う。 (3)関東・関西の「三豊市ふるさと会」により、これまで三豊市を知名度の成果と、今後の知名度の向上に向けてを伺う。 (4)これまで、若者の住宅取得時の支援事業においての成果と移住を検討する方や、各種活動を行う学生団体に報償金を交付についての詳細と、市内有力企業と連携し、仕事の紹介を行うシステムを新しく構築して、移住増加に向けての施策を伺う。
			2、西香川病院について	12月の一般質問において、三豊市から西香川病院運営に対して厳正な管理業務の指摘において、当局は、病院側に伝え協議すると答弁されたが、協議の回答を伺う。